

授業紹介〈絵・彫・デ・工・**映**・他〉

『コマ撮りアニメーション』

高知工業高等専門学校

今上薫子

学校紹介・特色

本校は、1クラス(1学科)40人、1学年4学科160人で、修業年限5年(専攻科進学の場合7年)の一貫した専門教育を行っている。学年制を基本に、一般科目と専門科目をくさび形に配置し、1年次より段階的に専門科目が増えるしくみになっている。標準的な授業時間数は、高校+短期大学の時間数を大きく上回り、かつ専門科目は大学工学部で履修する専門科目の総時間数を上回る。早期から創造性豊かな実践的技術者を育むこの他に例を見ない教育課程が、高専制度の大きな特徴のひとつとなっている。

美術は必修科目で1年次に1単位(週1時間)開講している。

対象学年 1年生(1講座40人)

所要時間 8時間程度

コンセプト

今や映像はCGを使ったものも珍しくない時代となっているが、一方で「コマ撮り」という古典的な手法でつくられた映像も独特の魅力があり注目されている。また電子機器の普及やソフトウェア等の開発によって、簡単にアニメーションをつくるできるようになった。しかし、まだ多くの学生にとって映像表現は特別なことと思われがちである。よって身近なものを使って手軽にアニメーションをつくれることを体験させながら、なじみの少ないコマ撮りアニメーションの魅力にも気付いてほしい。

授業では、絵画表現に抵抗のある学生でも楽しく取り組めるように、※1 プラモデルや人形を動かしてコマ撮りをする『人形アニメーション』という手法を使った。各グループ20秒程度(1秒間10コマ~15コマ)の作品をつくる。

※1 これより前の課題「プラモデルを使ってジオラマ制作」で各自が準備したプラモデルを製作している。

準備するもの

デジタルカメラ8台、プラモデルなどの人形、ボード、紙粘土、色画用紙、絵の具、風景写真などのカラーコピー、のり、はさみ、テープ、針金 など

- 手順
- 1 グループ分け(5人1組……計8グループ)
 - 2 ストーリーを考えて絵コンテを描く
 - 3 セット(背景)制作
 - 4 デジタルカメラで撮影
 - ・各グループ 20 秒程度(1 秒間 15 コマ程度)の作品をつくる
 - 5 編集(教員)
 - ・編集ソフト: Adobe Premiere Elements 9
 - 6 鑑賞会

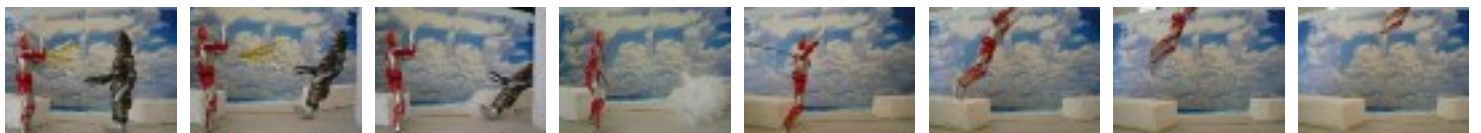
生徒作品Ⅰ(ワンシーン)



生徒作品Ⅱ(ワンシーン)



生徒作品Ⅲ(ワンシーン)



まとめ

20秒の作品で300枚程度の写真を撮影しなければならず大変根気の要る作業である。その分鑑賞会では、動画となって上映された自分たちの作品を観て喜ぶ姿や、他のグループの作品に感動する姿がたくさん見うけられた。後日、全グループの作品をまとめたDVDを作り1年生全員に配布した。